

図書館報

第九号

昭和三十三年九月一日

発行所 福岡市西新町

西南学院図書館

発行人 山下和夫

図書館と卒業論文

館長 船越 栄 一

先月ある必要から中央のある大学の研究室をたずね図書を探した。その研究をたずねたことは、見たいと思う本はほとんどが貸出になつていて、ということである。ことに新しい本はそうだった。私達の研究室時代には

なかつたことである。これは一体どうした理由によるのであろうか。私の邪推かもしれないがどうもそれは次のような理由によるらしい。教授はさることながら、若手の助教、講師あるいは研究室の助手あたりはもつぱら一可なり多くといつた方が正確かもしれないが、研究室の図書を利用するということである。

私達の助手時代には容易に入手できない外国の古典などのほかは大体自分で必要な本はまかなつたものである。もつとも当時助手の俸給は六十五円だった。今に換算すれば現在の私の給与といくばくも変るまい。日本も貧しくなつたものだ。

エンゲル系数上屏のおかげで図書が買えなくなつたのである。カー・ヒルティがいつているように、本来に必要な本は必ず自分で所有すべきであり、借用した本からは真実な何物をも学びえないかもしれない

が、背に腹はかえられない。研究室の図書を利用するのである。

同じことは学生諸君についてもいえるだろう。昔の学生は卒業論文を書くのに必要な図書は自分で購入し、図書館はそれを読み、整理する場所だったのであるが、現在ではもつぱら図書館の図書を利用して卒業論文を作成しているのが実情である。誠に残念なことだが致し方がない。そうだとすると、図書館でもそれにさうよう配慮しなければならぬ。わが図書館で最近利用度の高い図書について

英文閲覧室の新装成る

商学閲覧室書架の入替えも

かねて利用者から要望の多かつた英文学閲覧室のテーブル椅子の取換えが実現したことは全く喜びに堪えない。新館が出来て既に三年有半、この閲覧室だけが旧来の木製品を使用していた、め閲覧者にも長い間不自由な思いをさせたこと、思われ。予算その他色々困難な事情から遅れがちになつてしたが、やつとこ

副本の購入を始めたのもそのような理由が一つであるが、この点で図書館の現状は甚だ理想に遠い。バックナンバーの整備など特に急がれるもの一つである。しかし、こうした図書館でもたんねんに利用されるならば相当の利用価値があるはずである。たとえば購入の図書雑誌のほか従来あまり利用されてない各大学、研究所発行の雑誌、紀要を充分に活用されるならばその利用体制を近く整備したいと思つている。相当の成果をあげようと思つて、文献目録も徐々に整備しつつある。これも活用していただきたい。わが図書館でも将来はリファレンス・サービスにまで持つて行つて、卒業論文の問合せにも応ずるようになつていと思つている。皆さんの御利用と御協力をお願いする。

(写真は西南学院図書館)

の七月に他の閲覧室と同じ新製品がデビューし面目を一新したわけである。又それに伴つて商学閲覧室の古い書棚も一新され各室のカーテンも新しいのと取換えられ箱内の雰囲気は一段と向上した筈である。たゞこゝで考えねばならないことは、心地よい図書館を作り上げるものは単なる

設備ではなく、これを利用してゆゑ者の研究態度如何にかつていゝことである。殊に全国でも数少ない新しいシステムのこの図書館を理想的なものにまで盛り上げるものは閲覧者の自主的な協力であることを忘れてないで戴きたい。

図書館ニュース

○私立大学図書館協会

五月十七日豊橋市愛知大学の主催で昭和三十三年度春期関西西部会が開かれた。

又六月十二日から三日間中央大学において総会並びに研究発表会が行われ、私立大学図書館の当面する色々の問題について討議が交され盛会であつた。

○全国図書館大会

六月二日から三日間東京日比谷の共済会館に全国から約九百名の関係者が出席、各地域の図書館協会から提出された議題を討議、ついで技術研究会、大学図書館部会等の部会に分れ種々研究が重ねられた。又同時に国会図書館と大学図書館の連携強化に関する研究集会が持たれた。

○福岡県大学図書館協議会

五月三十日 総会 於九州大学
七月二十九日研究会於福岡大学
○私立大学連盟主催図書館研究集会
七月八日から約一週間明治大学で私立大学図書館の中堅職員を集めて研修会が開かれた。

卒論と図書館

—そのI—

特集

卒論と私

坂本重武

図書館の資料が不足しているという声が卒論作成中の学生から聞かされること屢々です。確かにその通りですが、同時に現在の資料をもつと十分に活用すること又図書館が行っている卒論作成者への色々のサービスをより一層利用することが肝腎でしょう。そこで作成者への手引として、卒論作成についての先生方の御指導と学生の疑問に対する図書館の意見を掲げました。

(図書館)

私は卒業論文を二つ書いた。一つは東大を出た時。その頃は卒論などとは言わなかった。正式に卒業論文と言った。略しては論文と言っていた。新制大学ができてから、卒業論文を書くものの数は恐らく、その頃の百倍にもなっているだろう。そして卒論という変な略語が用いられるようになって来た。

さて、私の卒業論文の題は「ウィリアム・コリンズの詩」であった。十八世紀中葉の詩人で、その作品は全部で三千行にも足らず、全集読破は易々たるものであった。当時ゼイタクな学生は黒磯あたりに行つて書いたものだが、私は本郷は菊坂の下宿に籠つて必死の努力をした。当時

タイプライターなどなかったものを使うものもなく、私は実に丹念にペンで清書した。そして、当時流行していた「ロンドン・マーキュリー」というイギリスの文芸雑誌にまねて、製本した。何を言つても、すでに三十年の昔で内容は大部分忘れてしまった。

もう一つは、アメリカのベイラー大学で書いた。題は「ブラウニング・イン・ジャパン」であった。ベイラー大学は立派なブラウニング図書館のあるところで、日本語のブラウニング関係書目も五百近く持つていた。図書館では、一室を与えてくれて、随分、私のために便宜をはかつてくれた。一章できるごとに主任

教授が見てくれて、英語の先生が英文を批評してくれた。さて、出来あがつた論文はタイプしなければならぬ。私はアメリカへ行く数ヶ月前からタイプを稽古していたので、自分でタイプすることにした。しかし、指先の不器用な私にはなかくの難事業であった。論文の内容より、英文で書くことは難かしく、これをタ

イプで打つことは、それよりもなお難かしくつた。百度を超えるテキサスの炎暑のころ、人気も少い寄宿舎でタイプライターと取り組んだこと階段を吹きあげてくる風涼し人気が四階にのぼる椅子にあぐら組みでタイプと取り組めば真裸なれど汗たれるなりしばくも指の脂をおし拭いタイプ打ちつゝ夏の夜更けぬ一仕事終りて心楽しけれメキシコ料理喰はむと思ふ

(筆者は本学教授)

論文の書き方

木村 毅

新制大学では卒業論文など無理だからやめてしまえという意見もある。しかし私は反対したい。「卒論はだれのためでもない、何よりも自分のためになるのだから、しつかりやり給え」といつもいつている。実際だれでも経験することだが、書くということほど自分の勉強になることはない。十分わかつていると思つていたことが案外あやふやだったのに気がつくことも多いし、また書いているうちに新しい着想も浮ぶものである。しかしそういう論文も書きだすまでが大変である。まずテーマを見付けるのに相当勉強せねばならぬ。いろいろ本を読んでは考え、考えては読みしているうちに、諸学者の見解の相違点や未解決の問題などがわかつてきて、初めて論文のテーマも見付かるわけである。こうして苦労してテーマを見付ければ、論文はもう半分書けたも同然である(あてがい扶

持のテーマではだめなわけだ)。ここで一度立ち止まって論文のあらすじを序論・本論・結論という順序で考えて見る必要がある。その上で今度はテーマをいつも意識しながら、もう一度本を読み返したり、新しい本を読む。そのとき気付いた点はすぐメモをとっておく。メモはカード式に、一枚の紙には一つのメモ

を置くべきであらう。そういう仕方古今の名著一冊の研究をテーマとするのもよい、「マクベス研究」、「ケインズ一般理論研究」などというように。そのためには語学力が必要だが旧制大学でもちろん、新制大学でも歴史のある大学では、学生が独力で原書を読んだ自分の研究を進めて行くのは普通である。本学でもそういう学生が全体の半分位はあつてほしいものである。なお書籍のほかに雑誌論文も是非参照すべきであるが、それは国会図書館編「雑誌記事索引」や「経済学文献季報」(いずれも図書館にあり)を利用しての便利である。最後に、文章をよく練ること、当用漢字・現代かなづかいによること、字をまちがえないこと、さらに、参考文献の目録を掲げておくことが望ましい。

(筆者は本学教授)

特集

卒論と図書館

—そのⅡ—

— 先ず、図書館にどの様な参考資料があるかは、どうやって調べたら良いのですか

○ それには矢張り何と云つても目錄カードをひいて頂くことです。著者名目録、書名目録(和漢書だけ)及び分類目録の三種類ですが研究テーマの種類別に分けてあるのが分類目録です。所が、この分類は社会科学は3、そのうちの法律は2、民法は4、更にこまかく相統法は0、「従つて相統法関係の本は34.7」と云う番号の所をひかねばならないと言つた具合に全ての本の内容を数字の組み合わせによつて、表わしてあるわけで専門の図書館員でない素人の方には利用しにくいうらみがあります。然し慣れるに従つて非常に重宝なものだと云うことが分つて来るでしょう。しかも、書架にはこの分類目録と全く同じ順序で本が並べてあるのです。

ります。たゞし本図書館では研究内容に深く立ち入つこの Instructional Service は致して居りません。

— 学院図書館にある無しにかかわらず、自分の選んだ研究テーマについて、今迄にどの様なものが出版されて居るかを知る方法はありませんか

○ あります。いわゆる文献目録書を調べて頂くわけです。最近文部省や国立国会図書館から「學術雑誌総合目録」「學術図書総合目録」及び「新收洋書総合目録」等が刊行されましたが、その外、現在本館にあるものは次の様なものです。

「思想名著解題」(五卷) 「人文科学の名著」 「図書解題」(二卷) 「哲学名著解題」 「経済学文献季報」 「経済学文献解題」 「自然科学名著」 「解説世界文学史年表」 「国文学研究書目解題」 「国文学・国語学文献解説」 「英米文学名作概観」 「英米文学名作解題」 「日本に於けるトーマス・ハーディ書誌」 「雑誌記事索引」 「The Cambridge bibliography of English literature. (5 Volumes) English literature in schools. A list of authors and works

卒論作成のために 図書館はどう役立つか

for successive stages of study. An introduction to bibliography for literary students. Bibliography of American literature. (5 Volumes) 等々。又「出版年鑑」はいわゆる全出版物の総合目録です。その他学院図書館独自のものとしては、英米文学関係の各大学論集の目次リスト、各大学論集の目次カードを作成して居ります。

— その場合、もし学院図書館になく、他の図書館なり、調査機関、研究所等にある図書、利用の斡旋をしてもらえますか

○ その場合は図書館対図書館の相互貸借と云うこととなりますので学院図書館事務室までお申出下さい。

他の図書館に個人的に借りに行つても貸してもらえる可能性は殆どありません。又、近く国会図書館でも Reference Service (質問応答事務) を活潑に行う方針だと言つて居ります。

学院図書館にない図書資料は、希望を出せば直ちに購入してもらえますか

○ 直ちに云うことが「短時間」で云ふことならば、洋書の場合相

当の日時を要する場合があります。図書館には独自の收書システムがあり、その線に沿つて妥当な希望だと認められれば各責任者の決裁を経た後購入します。しかし、図書館の蔵書は大局的な立場に立つて行われるのですから、希望者の個人的な要求に応じかねることは言う迄もありません。

— 先輩達の卒論は全部図書館に保管してありますか

○ 現在図書館に保管中のものは、木村、細井、シエパード、八田、古林、久野、山本、石田、大村、坂本各ゼミナールの全部もしくは一部で他の分は各教授の所にあります。尚、図書館に保管中の分は随時閲覧に供して居りますので参考になると思ひます。たゞし貸出は致しません。

— 論文作成の技術上のガイドブックはありませんか

○ 論文のスタイルは決して画一的なものではありませんから、各ゼミの教授によつて幾分違つてくると思ひますが、ごく初歩的な一般的知識をつかむのには、「学生論文の書き方」(国松久弥)、「學術論文の書き方」(五島茂)、「読書と論文の書き方」(加田哲二)、「論文・レポートの書き方と作文技法」(時事教育研究会)などがあります。

卒論作成者への 図書館サービス案内

- ◇ 卒業論文作成中の学生に対して圖書の特別貸出を行つて居ります。冊数は三冊以内、期間は一ヶ月間で他に要求のない場合は、更に一ヶ月間借出すことができます。御希望の方は貸出係で用紙をもらつて各ゼミの指導教授の証明を戴いて来て下さい。
- ◇ 各大学から出されている論集紀要の中、英米文学関係の論文のリストを書き抜いてあります。これは各論文の中で取扱われている英米作家別にできています。リストは事務室にありますので係までお申出下さい。
- ◇ 又各大学論集の目次カードを作成して事務室に備え付けています。
- ◇ 卒業論文作成に必要な資料の購入を希望される方は貸出の係に「購入希望図書受付簿」がありますので之に希望図書名を御記入下さい。
- ◇ 以前の卒業生の卒論が製本された上、図書館に保管されています。館内の利用だけで貸出はしません。
- ◇ 卒論を製本される場合図書館で斡旋致しますので、各ゼミで指導教授と協議されてお申込下さい。費用は大体一人当り百円前後です。



寄贈文庫目録が

完成しました

柳原文庫
 村田文庫
 小田文庫

この夏かねての懸案であつた寄贈文庫（柳原、村田、小田）の冊子目録をいよいよ刊行することになつた。現在、図書館には右の三文庫と波多野文庫が所蔵されているが、この中、波多野文庫はまだ整備が終つていないため次の機会に延ばすことになつたのである。

柳原文庫は昭和十六年当時高等学部教授をしていられた柳原祥祐先生が本校を辞職されるに際し記念として御寄贈されたもので、所蔵冊数は二六一冊（和書二四五、洋書一六冊）であり、その特徴としては哲学及び教育学、倫理学関係が多い。
 村田文庫は昭和十三年高等学部教授として在職中、死去された村田秀雄先生の遺族より御寄贈されたもので、所蔵冊数一七九冊（和書八二、洋書九七冊）であり、その大部分は英文学関係書である。
 小田文庫は本年死去された小田嘉一郎先生の遺族より御寄贈されたもので所蔵冊数五一九冊（和書四九九冊、洋書二〇冊）で殆ど法律関係書で占められている。

一昨年の夏、長崎に居られる故村田先生のお嬢さんが来館されて、先生の寄贈文庫を御覧になられた。現在ではその当時とちがつて、寄贈者の頭文字を冠した新しい請求番号のもとに排架されている。

リザーヴブックを新設

演習の指定参考書は非常に需要が多く、皆さんの利用希望に感じきれない状態です。この八月から特に需要の多いものをリザーヴブックとして一階閲覧室にリザーヴ（保留）することに致しました。それらのリザーヴブックは館内閲覧だけで貸出はできません。併し需要の多い図書はなるべく副本を備付けておりますから貸出希望の方は副本（各閲覧室に並んでいます）を利用して下さい。

影の先生

村田先生と 柳原先生

村田秀雄先生は昭和五年以来西南学院高等学部（大学の前身）文科の英語英文学の教授として在職、昭和十三年病の為に長逝された。どこか啄木に似かよつた風ぼうで真面目な情熱的な文学者であつた。学生たちと映画や音楽を論じ、講義の間でもよく青年の当面する人生問題について語られた。晩年病と斗かいながら、その信仰は愈々深められたと聞く。現存せられておられるれば、文学部の優れた教授として活躍せられたであらう。

うと思う。惜しい先生であつた。

柳原祥祐先生も永く高等学部において倫理学教育学を講ぜられた。そしてその講義においてよりも、その生活における実践によつて、多くの学生に深い感化を残された。先生の立場は西田天香師の一燈團の流をくむ感謝と奉仕の実践であつた。学生たちは、朝早く黙々と一人で学生の便所を掃除したり、校庭や道路の草をむしつてゐる先生の姿を見て心打たれた。後年山口県に引退されてからおけばよかつた」といわれていたが、昨年その教育者としての立派な生涯を閉じられた。

小田先生

小田嘉一郎君と初めて会つたのは

（村上寅次教授談）

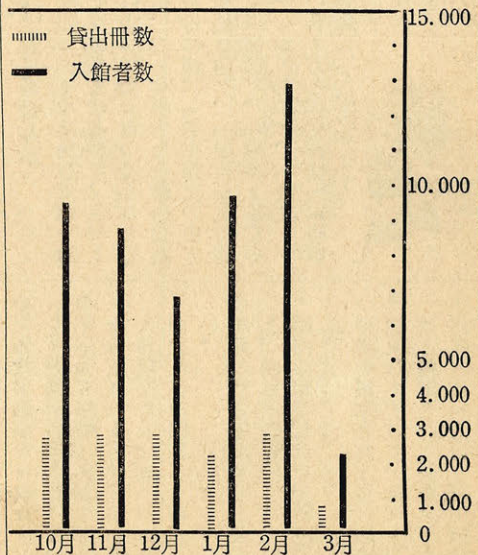
昭和三十年の九月であるから、僅か二年半ぐらいの交りに過ぎなかつたが、温厚な青年学徒で親しみもてる先生であつた。
 小田君は九大の大学院では舟橋教授の指導の下に民法を専攻せられ、従つて本学講師に就任せられた。教授会や協議会などに出席されたとき、屢々法学徒らしい筋の通つた発言をされて啓発されたことがある。
 今般御遺族から先生の蔵書を含む全部本学図書館に寄贈して下さつたので、図書館ではこれを「小田文庫」として永遠に保存することとなつた。こゝに心からの謝意を表す。

（八田薫教授談）

閲覧係より

○ 読書のシーズンです。利用者の皆さんに快適な読書を案ずり頂こうと閲覧係一同ますます張り切つて居ります。
 館内の静粛維持等、皆さんの一層の御協力をお願いします。又、苦情希望、質問など、どしどしお申出下さい。投書箱も遠慮なく御利用下さい。
 ○ 休憩室以外での喫煙は絶対に御遠慮下さる様お願いします。又、スイカの始末は確実に、特に夜間閲覧の方にはお願いします。

昭和32年度後期利用統計



（職員及び卒業生を含む）